

大阪北部・近隣県（6月18日）の地震の被害にあわれたみなさまにお見舞い申し上げます。

## 地震に備え、広域避難場所など確認を



地震による火災発生時の広域避難場所として、西尾久地域は、尾久の原公園（2丁目一部・3・6丁目）と北区尾久操車場（1丁目の2・3、10・15・19・33番、2丁目30・34、38番、3・4・5・7・8丁目となっております。西尾久地域も北区の尾久操車場ではなく、荒川遊園地、新設の宮前公園に指定変更を東京都に区が要望していますが、今回は見送りで。

関東大震災の大火災の教訓から広域避難場所を指定されています。しかし現状は、直接、学校などの避難所に避難することが現実的になってきています。

いずれにしても避難場所は、可能な限り近い方がよいのは、当然です。

\*広域避難場所とは、地震火災から住民を安全に保護するため、火災が鎮火するまで一時的に待つ場所です。

大阪北部地震で学校のプールブロックが倒れ、女児が亡くなるなど痛ましいことになり、荒川区は、区の職員（19日）が目視で区内の学校・公的施設など点検調査を行いました。施設135か所のうちブロック塀・フェンスの122か所の調査の中で一部亀裂もあるとの報告がありました。

今後引き続き学校のブロック塀などを優先し耐震補強など対応策を行なう予定。また、民間でも区に申請があった物も対応していく旨の報告がありました。

あんべ

安部 キヨ子

区政ニュース



日本共産党荒川区議団

### 感震ブレーカー

簡易型感震ブレーカー...地震で停電し、復旧時に起きる通電自動点灯ライト配布 電火災防止にブレーカを切る装置です。自動点灯ライト...停電時に自動的に電気が点灯されるライト。 それぞれを無料配布の計画をしています。

【対象】 65才以上のみ世帯 住民税非課税世帯 心身障害者手帳、愛の手帳、精神障害者手帳、要介護4以上の方がいる世帯。

【受付】 7月から受け付けて、9月から配布を開始する計画です。

家具転倒防止金具などの補助も行っています。高齢者、障害者などだけでなく、一般世帯も対象です。相談してみましょう。

問合せ先：防災課 防災センター2階 3802-3111 内線418

家具転倒防止、IH調理器 ライヤーなどの購入費も半額の補助があります。などの助成制度も

領収書が必要です。

問合せ先：高齢者福祉課・庁舎2階 3802-3111 内線2661



NO.765号  
2018年6月の3

区役所区議会控室

直通 3802-4627

FAX 3806-9246

Email:

arajcp@tcn-catv.ne.jp

ホームページ

http://www.tcn-catv.ne.jp/

http://jcpa/

安部キヨ子事務所

西尾久7-6-10

電話・FAX

3894-6668

## 障害者作業所の基本報酬に成果主義導入



就労継続支援B型は、特別支援学校などの卒業後にそのまま利用することはできず、いったん就労経験をjけるか、就労移行支援事業所を利用してアセスメントが行われ、一般就労が困難な方が、軽作業就労を行う障害者福祉サービス施設です。

障害者福祉サービス等報酬改定で、今回は基本報酬までも成果によってランク付けをしました。特に顕著なのが就労継続支援B型事業で基本報酬を平均工賃によって7段階に分けたのです。きょうさん（障害者向け共同作業所連絡会）の報酬改定影響調査では7割が減収の見込みと答えています。そもそも障害者の働く場に成果主義を持ちこむことは間違っていると思えます。どんな障害があっても、社会の一員として役に立っている、自分の力で工賃を受け取れる、生きがいを持つことができることが政治の責任ではないです。

**現場の声：**利用日数が少ない利用者が多い。重度障害者が多く工賃が低い。就労以外の余暇活動や生活支援も取り組んでいる事業所が特に影響を受けます。重度の利用者も工賃は低いが「働く」という事を一生懸命実践している事業所は頑張っていないという評価が極めて残念です。重度や短時間しか働けない利用者の抑制につながらないか懸念します。事業所の収入減で職員の人件費削減で対応せざるを得ない、非常勤の増加などますます深刻な問題を引き起こします。多くの利用者・職員が不利益を被る内容で唖然としています。

しよつか。むしろ重度加算を行うべきです。障害の重い人の否定や排除に繋がりがねない報酬改定を見直すよう政府に求めらる。区内作業所の第一、4半期（4月～6月）に運営実態を調査・把握し、前年度収入を下回るようなら区としての加算を行うこと。を求めます。

## 定例法律・生活相談のご案内

第三 金曜日

6時半から8時まで

お急ぎの時は、北千住法律事務所に予約できます。また、生活相談も随時行っていますのでご連絡ください。

安部キヨ子事務所 3894-6668



# ジョイフル三ノ輪商店街に画廊

# 「ゆる鉄」中井精也さん



平日：13時～19時  
土休日：10時～19時  
毎週火曜・水曜は定休日

5月3日、ジョイフル三ノ輪、銭湯大正湯の隣に「ゆる鉄」中井精也さんのギャラリー&ショップがオープンしました。「お店を出す場所は僕の好きな撮影地に近いということが条件でした。候補は、都電荒川線が、小湊鐵道の沿線。でも小湊鐵道は今住んでいるところから少し遠くて。

都電荒川線の三ノ輪橋駅は大好きな場所の一つでした。もともと三ノ輪橋の商店街は、撮影に来たときにパン屋さんや焼き鳥屋さんなどで買い食いをしていたので、商店街に知り合いが多かったのです」

「東京生まれの東京育ちである僕にとって、ふるさとの風景はまさにこの商店街のような景色です。路地があって、都電の線路際の道にバラが咲いていて。ふるさとの景色はとても落ち着きますよね。東京下町の風景がここまで強く残っているところはなかなかないと思います。僕にとっては理想の場所です」

「商店街のよさは、個人店のよさ。プロが自分の得意とする商品を並べ、商店を構えて、誇りを持って朝から晩まで働いています。それ

こそ何十年も。自分がこれだと思ふことを続けていくことはなかなかできることじゃない。最近は商店街も高齢化していて、シャッター通りが増えています。でも、今回僕がお店を始めたことでそのシャッターのひとつが開いて、光がついて、なかったものができました」



「ゆる鉄」中井精也が駅前に画廊を開いたワケ  
東京・三ノ輪に開店、商店街も元気になった

1967年、東京生まれ。  
鉄道の車両だけにこだわらず、鉄道にかかわるすべてのものを被写体として独自の視点で鉄道を撮影し、「1日1鉄！」や「ゆる鉄」など新しい鉄道写真のジャンルを生み出した。  
2004年春から毎日1枚必ず鉄道写真を撮影するブログ「1日1鉄！」を継続中。  
広告、雑誌写真の撮影のほか、講演やテレビ出演など幅広く活動している。  
株式会社フォート・ナカイ代表。社団法人日本写真家協会会員、日本鉄道写真作家協会副会長。

**荒川でステキなギャラリーが。ぶらりと立寄ってみませんか。** 各地域にいろんなギャラリーがあると楽しそう。

## 大人の動物園の楽しみ方 大人になって動物園なんか恥ずかしいと思う方。時間と心に余裕のある今こそ、楽しむチャンスです。

○まずは情報収集するのがおとな流。入口そばには掲示板や、情報センターのような施設を確認する。○動物の魅力をじっくり観察。見方がかわると楽しめる。○動物のくらす自然環境やフィールドにも視野が広がるとイイですね。○楽しくなったら何度も行こう。八坂氏（多摩動物公園）＝「女性のひろば7月号～」

まずは、あらかわ遊園地の動物を楽しみませんか？ あらかわ遊園地の動物達。今年、1月にカビパラが2匹出産。1匹は残念ながら亡くなりましたが1匹（雌）が

元気で育っています。4月はヤギが2頭出産。めずらしい動物・赤ちゃん動物・かわいい動物。動物が動いているのは開園時間や午前中がおすすめ。一番は、えさやり時間がベスト。昼は暖かくなって午睡中。閉園時間間際は、動物たちも帰る時間が近づいてソワソワし、動きまわる。お弁当持って行ってみませんか。



入園料	
土・日・祝日	平日（春・夏・冬休み除）
大人：200円	大人：200円
小中学生：100円	小中学生：無料
65歳以上：100円	65歳以上：100円
障害者手帳有：無料	障害者手帳有：無料
あらかわ遊園：03-3893-6003	

## 荒川区の貯金は327億円

定期的に区の預貯金など報告がされます。現在の区の預金は普通預金35億313万8,470円、定期預金は292億5,000万円合計で327億5,313万8,470円となっています。年間予算が約1,000億円弱ですから、借金が約200億円あるものの、決して少ない預金です。計画的な財政運営は当然ですが、定期報告のたびに区民生活にもっと役立てて活用していただきたいものです。

預金の種類	金額[円]
普通預金	3,503,138,470
定期預金	29,250,000,000
債権	0
合計	32,753,138,470



ご意見ご質問いただきました。手話を習いたいと思っています。具体的に初心者が習うのに、荒川区の取り組みはどんな取組があるのでしょうか？と。

手話講習を区は、社会福祉協議会（社協）と協力し行っています。初心・中級・上級コースなどありますが、途中

からの講習は難しいとのこと。（最初～が大事！）荒川区は手話言語条例案を今議会に示しています。7月の本会議で議決された後、手話を区民のみなさんに知ってもらうための企画を8月頃検討しているようです。詳細が決まりましたらお知らせします。



お詫び：区政ニュース763号で「働き方」法案は廃案にの全国で過労死のを考える家族の会の記事で「佐戸恵美子」さんを「美佐子」と誤って記載しました。また娘さんの名前「美和」さんを「道」と間違いました。確認が不十分で間違えて申し訳ありませんでした。そそっかしく度々の訂正ですみませんでした。





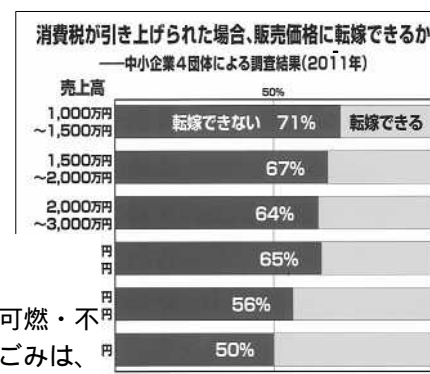
## 荒川区のゴミ・資源の実情

燃・資源)は年間72,196 tで量としては、23区中で一番少ない。そのうち家庭ごみは、プラスチックも可燃ゴミにしたことで、90%を燃やしており、一人あたりの1日に出す量は 1人1日当たりのゴミ量と順位 23区中9位と中ほど。

事業系ごみは、15位と事業活動の規模の縮小・低迷が示されています。ゴミ減量のためには、家庭ごみ対策が大切です。荒川区も新聞紙の再生や台所の生ごみ減量

区分	荒川区		23区平均	
	順位	数量[Kg]	数量[Kg]	
家庭系ごみ	可燃ゴミ	10	0.599	0.567
	不燃ごみ	8	0.033	0.028
	粗大ごみ	23	0.014	0.017
	総計	9	0.646	0.612
事業系ごみ	15	0.17	0.305	
資源	18	0.161	0.174	
合計	14	0.978	1.090	

や水をよく切ることなど。できることから取り組んで欲しいとしています。



ゴミの組成割合

区分	荒川区		
	%	g/1人・日	
可燃ごみ	紙類	21.9	103
	厨芥類	42.4	201
	繊維類	3.6	17
	方・容器	9.8	45
	その他	13.2	62
	総計	90.9	431
不燃ごみ	0.2	1	
資源ごみ	8.9	43	
その他	0.1	0.3	
合計	100	475	